



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成29年度 第9号 平成30年1月30日発行

夢をもて、大志を抱け

校長 古山 真樹

「少年よ、大志を抱け」とは、札幌農学校（現北海道大学）の教頭クラーク博士がアメリカに帰るときに学生たちに述べた言葉としてあまりにも有名ですね。新しい年の始まりに私も同じことを君達に望みます。夢をもちましょう。将来の自分の姿を思い描きましょう。この言葉は当たり前のように小学生の時から言われてきたことでしょう。では、なぜ夢をもつことが必要なのか、次に夢をもつことの効用を列挙してみます。

- ・将来の自分の姿、夢を思い描くことで人生の目的が生まれます。夢をもつことで生きる力が湧いてきて、やりがい生まれ、人生が楽しくなります。
- ・夢をもつことで進むべき道が明確になり、日々為すべきことが定まります。夢があるからつらいことがあっても頑張ることができます。また、へこたれそうになった自分を叱咤激励できる力が湧いてきます。
- ・夢をもつことで努力と工夫ができるようになります。どうしたら夢に近づけるだろうと考えることは楽しいことであり、思慮深くなります。
- ・夢が明確であれば、無理だとあきらめることなく、小さな一歩を踏み出すことができます。小さな一歩一歩、毎日の積み重ねの尊さを知り、日々のやりがい生まれます。
- ・万が一、その夢が叶わなくとも自分の良い面を伸ばすことにつながります。自己啓発が為され、次の夢、目標が生まれ、新たなやりがいを見いだせます。

このように夢をもつことそのものが自分を成長させ、豊かな人生につながります。「夢をもつこと＝生きること」と言っていていいでしょう。開一中生よ、夢をもて！大志を抱け！

今月の言葉

真 心

真心（まごころ）。響きのいい言葉ですね。聞いただけで心が温かくなるような気持ちになります。新年1月にふさわしい言葉だと思います。

真心とは、他人のために尽くそうという純粋な気持ちを言います。尊い心です。キリスト教圏で言えば「博愛の精神」と言えるかもしれません。

日本では、和の精神と密接に結びついて育まれてきたものです。よく「真心のこもったおもてなし」という使い方をします。古来日本人は質素であっても心を込めたおもてなしを大切にしてきました。相手への気遣い、心配りです。見返りを求めず相手を敬い丁寧に應對する、そのためのしつらえをきめ細やかにすることを言います。その時の純粋な気持ち、澄みきった献身的な気持ちが真心そのものです。もちろん贅沢や豪華である必要はないのです。物ではなく心です。玄関を清め、床の間に野に咲く季節の花を一輪活けるなどの心配り。料理であれば丁寧に^{だし}出汁を取って温かい内に出すことを言います。おもてなし、真心とは仕事上のサービスを越えた心遣いを言います。日本人はこの精神をもって生きてきました。しかしながら、現代のように慌ただしい社会、物があふれる社会ではついつい忘れがちになってしまうもの。心に余裕がないといけませんね。常に真心をもって生活したいものです。皆さんの力で真心があふれる学校にしましょう。

最近の開一中生の活躍を紹介します！

平成29年度防災ノート活用促進月間 防災標語コンクール

優秀賞 1年 **村上 杏美** 標語「確認しよう 家族で集合 避難場所」

※作品は「のぼり」にして使用します



第18回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

全国農業高等学校長協会賞 2年 **鈴木 葵**

練馬区総合体育大会新人大会

卓球の部 (個人)

第3位 2年 **根岸 泰斗**

第19回東京都中学生

冬季バドミントン大会 練馬区選考会

第1位 Bブロック大会 **第3位**

2年 **村田 玲美** **都大会出場!**

第56回東京都中学校

ロードレース大会

男子1年2km 競走 (6分56秒)

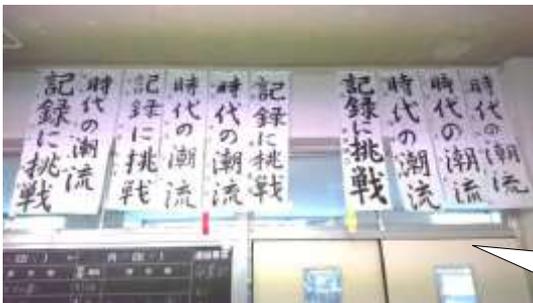
第2位 1年 **平賀 英智**

男子2・3年2km 競走 (6分59秒)

第6位 3年 **小林 直樹**

女子2・3年2km 競走 (7分44秒)

第7位 2年 **井川 希星**



校内書き初め展 ~1/31 まで
写真は3年4組の展示風景です



第65回練馬区小中学校連合書き初め展が1/27(土)・1/28(日)と練馬区立美術館で開催されました。

本校からは、以下の生徒作品が出品されました。

1年	村上 杏美	甘糟 春花	高橋 莉子
2年	三浦 梨夏	佐藤 佑真	赤岩 理子
	村田 玲美		
3年	及川 真凜	鈴木ひかり	湧川 恵理
	岡田 楓花	佐藤 らら	



インフルエンザ流行警報

インフルエンザが全国的に猛威を振るっています。本校でも2年生で1クラスが学級閉鎖となりました。

さて、予防として効果がある「手洗い・うがい」ですが、ぜひこまめに行ってください。ウイルスは気管支に付着してから短時間で細胞内へ侵入すると言われています。学校生活では、休み時間ごとに「手洗い・うがい」をするくらい頻繁に行うことが大切です。

また、ウイルスは常に空気中に舞っているため、学校での予防策として「教室の換気」は非常に有効です。しかし、「換気」は意外とおそろかになりがちです。確かに気温がとても低く、窓を開けると一時的に寒くなりますが、ぜひ教室での「換気」を全員で心がけてほしいと思います。

インフルエンザ流行の注意報や警報が出たら、無理をして登校してはいけません。体調が優れないときは、早めに医療機関を受診し、医師の指示にしたがってください。その対応が自分の体を守り、蔓延を防ぎます。そして「休養・栄養・水分補給」・「咳エチケット」も忘れずに！！

